

● 本会の動き ●

☆女性技術者ネットワーク 報告☆

2022年10月21日

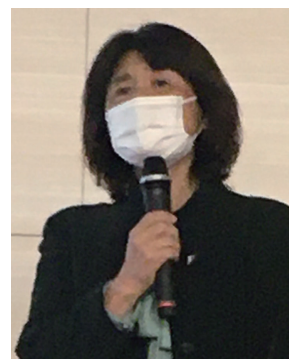
化学工学会男女共同参画委員会では、自然科学系女性技術者・研究者の抱えている様々な課題について情報交換をおこない、女性技術者・研究者のネットワークを作ることを目的に、「女性技術者ネットワーク」という会合を2012年から継続的に開催しております。秋季大会に続き今年度2回目の会合は、10月21日(金)17:40からオンサイトおよびオンラインのハイブリット開催でおこなわれ、2名の講師の方にご講演いただいた後、交流会をおこないました。

はじめに、「ジェンダード・イノベーションとは～性差研究がもたらす科学技術の発展～」と題して、お茶の水女子大学ジェンダード・イノベーション研究所・特任教授である佐々木成江先生にご講演いただきました。佐々木先生は、名古屋大学とお茶の水女子大学でご専門の生物学の研究と共に男女共同参画に取り組んでこられました。ご講演ではまず、日本の現状が紹介されました。日本の2022年度ジェンダーギャップ指数が世界146개국中116位という順位自体はご存知の方も多いかと思いますが、順位ではなく伸び率が問題で、日本は2006年の初参加以降ほとんど指数が上昇していないが、G7の中で伸び率1位のフランスは日本の28倍、あまり伸びていない国でも10倍のスピードであるという状況が示されました。その原因は、これらの国では指導的地位に女性がいることの経済効果や逆に男性ばかりであることのリスクをデータで示しながら進めてきたことにあるという明確な指摘が印象的でした。次いでジェンダード・イノベーションについて具体例を豊富に交えて話されました。ジェンダード・イノベーションは生物学的・社会的性差を積極的に研究開発に組み入れて、偏った知識を再検討してイノベーションを創出しようとする考え方です。これまでの製品開発は男性を基準として設計されることが多く、例えば自動車のシートベルトで女性は重症を負う確率が1.5倍近く高い、あるいは大腸がんは男女で発現形態が異なるけれど女性の症状に関する知見が少ないために発見が遅れて重症化しやすい等、開発者、被験者が男性に偏っていた故の問題に光が当てられるようになり、性差が見過ごされてきた研究開発に新しい発見、サービス、市場に繋がるインクルージョンの様々な効果が認識されるようになってきている現状が紹介されました。その他、女性の抱える健康上の課題に取り組むフェムテック、AIが現実社会のバイアスを反映する問題、EUをはじめとして研究費や助成金の申請に性差分析が要件となりつつある事例についても話されました。終始ポジティブな語り口で、元気の出るご講演でした。

続いて、BMDesign研究所主宰、東京大学国際オープンイノベー



ご講演される佐々木成江先生



ご講演される永合由美子先生

ション機構プロジェクトマネジャーの永合由美子先生に、「次世代の可能性は∞ – アンコンシャスバイアスを超えて – 」と題し、ご講演いただきました。永合先生は、若い世代の可能性を広げたい、次の世代にアンコンシャスバイアスを超えて日本を変えていって欲しいという強い思いの下で、NPO法人女子中高生理工学キャリアパスプロジェクトの代表を務めるなど、多くの若手女性支援活動に意欲的に取り組んでおられます。ご講演では、まず日本の現状について、高等教育を受けた人への経済的リターンが日本女性において極端に低いこと、理学・工学分野の大学における女子学生の割合が諸外国に比べて非常に低いことなどをデータを示しながらご説明いただきました。この現状を変えるためには、クリティカルマスを確保すると同時に、教育の場で自己肯定感を高めたり、



質疑風景



会場風景

能力を伸ばしたりする環境を整えることが必要だという点には深く共感致しました。ご講演の後半では、若手女性支援の一環として取り組んでおられる女子中高生夏の学校（夏学）の活動についてご紹介いただきました。夏学は2005年にスタートして現在はNPO法人として運営しており、理工系への進学や分野選択で悩む女子中高生が研究者や技術者との交流を通して理工系へのキャリアパスを描くための支援事業です。今年度はオンライン開催となっていましたでしたが、全国から115名の学生が参加し、実験演習やキャリア講演、先輩学生との相談会、スピノフ見学会などを実施して、参加者の満足度は非常に高かったとのこと。最後に、このような取り組みの情報が首都圏・関西圏以外の生徒に届きにくいことが課題とのことで、皆様にもご理解とご協力をお願いしたいと仰っておられました。

ご講演後には、講師とオンサイト参加者の交流会をおこないま

した。今回のご講演は、理事会終了後の開催だったため、理事の先生方をはじめ学会関係の男性や学生も参加しました。女性技術者ネットワークも久しぶりに対面を含めた形式で開催でき、短い時間ではありましたが、講師の先生方を囲んで参加者が交流する場を持つことができました。講師の方が前向きに女性研究者の創出と活躍推進に向けての活動を進めてこられたお話は力強く、男女関係なく今回の講演を其々の立場で活かしていただけるものと思っております。

化学工学会男女共同参画委員会では、2023年3月に開催予定の第88年会において女性技術者フォーラムの開催を予定しています。メルマガ等により開催内容をお知らせ致しますので、ぜひご参加願います。

（ファンクショナル・フルイッド(株)藤岡恵子
・産業技術総合研究所 吉宗美紀）